

SNS

「ロボin南相馬」
もよろしくお願ひします



Facebook



X



YouTube



連携協定を締結している企業が 市内で様々な取組を行っています！



▲原町第一中学校で出前授業を行う将来宇宙輸送システム株式会社の畑田代表

1月23日に、将来宇宙輸送システム株式会社が原町第一中学校で出前授業を行いました。

「未来の宇宙旅行」をテーマに同社が目指す宇宙旅行などについて講演を行いました。

出前授業では、生徒たちが独自の視点で宇宙旅行プランを作り上げる企画も行われ、生徒たちが宇宙産業を身近に感じるきっかけとなりました。

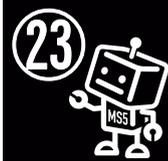


▲メカトロウィーゴを使い課題のクリアを目指しながらプログラミングを学ぶ参加者

2月22日に、教育用ロボット等の開発を行っている株式会社リビングロボット主催で、「第2回ウィーゴカップ」が福島ロボットテストフィールドで開催されました。

参加した子どもたちは、「あるくメカトロウィーゴ」を使い、家に隠れている泥棒をウィーゴが倒すという課題のクリアを目指しながら、ロボットの動きを自動化するプログラミングを学びました。

ロボin南相馬かわら版



令和7年
3月15日

【お問合せ】
商工労政課
ロボット・次世代
産業推進室
電話
0244(24)5326

ロケット甲子園決勝大会が開催されました！

2月8日および9日に、南相馬市馬事公苑で県内初となる「ロケット甲子園決勝大会」が開催されました。

本大会は、モデルロケット開発を通じて、次代を担う技術者を育成することを目的にNPO法人日本モデルロケット協会の主催で開催したものです。

全国から予選を勝ち抜いた9チームが、開発した機体内に卵2個を搭載させ、卵を割らずに、指定された高度と滞空時間にかに近づける



▲発射を見守る学生と観客

かを競いました。県内からは福島県立福島高等学校の「ASTRAIOS」が出場しました。

栄えある優勝は、東京都立小石川中等教育学校の「RikuriX」で、福島県立福島高等学校は「ベストPR賞」を受賞しました！

本市でこのような大会が開催されたこと大変うれしく思います。出場したチームの

今後の活躍に期待しています！！



◀開発したモデルロケットを披露する学生



▲ハイブリッドロケット「鈴木丸」

市内で**小型ロケット**の打ち上げ実験が行われました！

12月14日に、**小高区**で神奈川大学が**小型ロケット**の打ち上げ実験を行いました。

今回の打ち上げ実験は、神奈川大学の航空宇宙構造研究室と宇宙ロケット部が、最大高度の到達と機体の再利用を見据えた分離機構の実証などを目的に実施したものです。

打ち上げ実験は、**神奈川大学**が**1**から設計・制作したハイブリッドロケット「鈴木丸」（全長約4.5メートル）を使用し、集まった約200名の見学者が見守る中発射され、無事成功しました。

なんと、今回の打ち上げ実験の燃料には、海に浮かぶプラスチックを再利用したものが活用されました！

市内で**係留気球**を用いた実証実験が行われました！

1月22日に、**小高区**で**係留気球**を用いた地球観測実験が行われました！

この実験は、SkySense合同会社が、係留気球を使用して海上を観測し、ロケット打ち上げ時の安全性を確保できるか確認のため実施したものです。

当日は、ロープに繋がれた気球が高度約500mまで浮揚し、海上の撮影を行いました。

係留気球を用いた観測により、地上の広範囲を鮮明な画像としてリアルタイムに収集することができるということです。



▲係留気球を用いた実証実験を行う様子

小高中学校で**ドローン**体験授業が行われました！

2月20日に、**小高中学校**で**ドローン**の体験授業が行われました。

この体験授業は、小高中学校が福島ロボットテストフィールドの職員を講師として招き、行ったもので参加した生徒たちは、ドローンの飛行原理や活用の場面について、

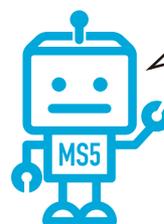
座学を行った後、実際にドローンの操縦体験を行いました。

生徒はドローンについて、知識として知っていても、ドローンの操縦などについては初めての人が多く、興味津々で授業を受けていました。

市もドローンをはじめとする次世代産業に興味をもってもらえるよう、RTFと協力して取組を行っていきます！



◀初めてドローンを操縦する小高中学校の生徒



読者アンケートへのご協力をお願いいたします！

『ロポin南相馬かわら版』をより良くするための読者アンケートを実施します。

